

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：横井町自治会

開催場所：横井町公会堂

開催日時：平成 28 年 4 月 13 日（水）19 時 00 分～21 時 00 分

参加者：自治会側【地域住民の方 16 人】

市側【染谷市長、高木副市長、牛尾理事、杉村地域生活部長、森田病院事務部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、山内協働推進課係長】

内 容

① 笹野横井町自治会長あいさつ

・お足元の悪い中、皆様お集まりいただきありがとうございます。横井町は 3,000 人の人口で、本日はその中でも選りすぐりの精鋭が来ているが、その結果については、これからの内容に期待をしていただきたい。市長さんを迎えて、日ごろ我々が言いたいことや、なかなか言いにくいことも含めて、まとめて今日は言わしていただくということでよろしくお願ひしたい。

② 市長からの市政報告

■はじめに

・駅南のまちづくり推進会議、地区社協、第三小学校区の避難地の運営委員会等、この横井の皆様方には、市内でも特別活発な活動をしていただいている地域である。

・まずはうれしいニュースから。長谷川純矢さんがオリンピックの 100m の背泳ぎに出場が決まった。四小から附属中学、島田高校、中京大を経て、今 22 歳ということで、島田市からオリンピックの選手は初めてだと思う。今回はパラリンピックにもバスケットの藤本怜央さんの出場が決まっていて、リオのオリンピック・パラリンピックに向けて、島田市は 2 人を応援していきたいと思っている。市民が挙って一つになれることは一生懸命やっていきたい。

■市政運営について

・今年の 5 月で市長になって 3 年を迎える。この 3 年間、様々な課題があったが、市長になると「変えよう島田」をスローガンのもとに、あの時、課題だったのは、街中への病院の移転であったり、地域間に格差を生まない市政であったり、クリーンな市政をとということが争点であったと思う。そういう中で、皆様の負託を受けて 3 年。市長になった時、4 つのことを市議会で皆様にお約束した。一つは公平・公正で市民の皆様の声が届く市政をつくる。二つ目は、行政がやっていることを見えるようにしていく。情報の開示と共にプロセスを開示していくということを行った。3 月に行った病院の設計業者を決めるプレゼンテーションなども、約 200 人の市民の皆様に来ていただいて、一日かけての審査をすべて見ていただいた。審査員の先生方が選ぶのと市民の皆様がどう感じたのかということも、色々なかたちで市民に皆様に見ていただく中で、公平性が保たれ、かつまた市政に関心をもってもらえると思っている。三つ目は、広域行政の推進ということで、志太の 3 市、中部 5 市 2 町、県との関係、様々な他県との連携、こうしたことを行っていないと、島田市

が単独で生き残っていける時代ではなくなった。特に志太の3市は毎年夏に3市の首長会談を開催しているし、観光の分野であったり、行政の様々な分野、あるいは、中電の安全協定を巡る問題は今、大詰めにかけているが、こういったことも首長が電話一つで思いを言い合える関係を築いている。安全協定については今、ギリギリの折衝を行っているところ。

・四つ目には財政の健全化を目指すということをお約束した。昔のように右肩上がり、明日は今日より良くなる。人口はどんどん増える。土地の値段もあがる。行政も借金してもこれから入る税金で何とか返せた。しかし、今はそういう時代ではない。だとしたら、自分たちの生きている時代のことは自分たちで何とかするという、そのくらいの気持ちをもっていかないと、次の私たちの子どもや孫の時代に、その時代に生きる人たちも自分たちのまちづくりのために自主財源で投資したいことがいっぱいあるはず。だとしたら財政はできるだけ健全化して借金を減らして優先度を決めて、選択と集中を重ねながら、やっていくよということを決めた。そうはいつでも、長い間の借金の返済はこれからなので、そんなに簡単に良くなるわけではない。だけれども、そこを立て直すしっかりとした気持ちを持って望まなければならない。

・この四つをもって市長になった。この3年間、この約束の上に、更なる課題ということで、前からの課題ではあったわけだけれども、「人口減少」。これは、私が市長になった時には、そんなには言われてなかった。増田レポートとあって、1,700余りある全国の自治体の中で、896という、実に半分の自治体が、2040年には消滅をするかもしれないというショッキングなレポートが出て、それから国も、瞬く間に「人口減少」、「地方創生」という流れができてきた。実は人口減少が進むだけではなくて、課題は超高齢化社会になっていくことが一番の課題だと私は思っている。

・横井町の3月31日現在の人口は、2,912人、世帯数は1,143世帯、高齢者は842人、高齢化率は28.9%、15歳以下の子どもは340人、人口に占める割合は11.7%となっている。市内の全体の平均は、高齢化率は29.2%なので横井の高齢化率はいくらか低い。15歳以下の子どもの割合は、市平均の割合は13.8%なので、いくらか子どもの数は少ないといえる。島田市の高齢者はこの5年間で3,188人も増えた。一方、生まれる子どもはこの5年間で150人減った。昨年生まれた子どもの数は722人。5年前は872人だったので、150人減っている。1年に30人ずつ減っている状況で、やっぱりこの高齢化、少子化は数値でみるとすごいなと思う。

・高齢化といっても、またそこに課題があって、今、65歳以上の方は、29,200人くらいいらっしゃる。一番ピーク（人口が多い年齢層）の方は60～69歳の方。これが、8,218人。70歳～74歳までの方が6,153人となっているが、あと10年経つと、75歳～89歳の方が、人口の2割を占めるという街になっていく。高齢化率はこの5年間で3.9%上昇した。2040年に3人に1人といっていたけれども、実は後数年もしたら3人に1人になりそうである。こういう予想以上というか、急激な高齢化社会というのがやっぱり日本全体の課題ではあるけれども、この島田のすごく大きな課題だと思っている。

・このため、高齢でもできる限り元気で、老いても安心して暮らすことができる地域社会を創るということは、10年先を目指したときに、とても大事な大きな目標だと思っている。高齢化率が増えていくということは、地域の活力を低下させていくし、コミュニティも衰退して、町内会が維持できない、役員になる人がいない、組長の順番をまわせない。川ざらいができない。実はこういうことが表れてきている。そういう時代をこの先10年迎えるわけなので、これはマイナスのイメージだけではなくて、どうしたらこれをプラスに転じられるかという大きな課題を突きつけられている。高齢化率が4割を超えている地域もある。伊久身と川根は4割を超えている。中心市街地の本通り周辺では、自治会単位で見るとすでに4割を超えている自治会もある。この高齢化

社会に太刀打ちする施策を行っていかなくてはならない。右肩上がりの時代ではないという、分水嶺、もう水の流れは変わった時代において、これまでは、行政は用途指定をしたり、規制をかけたりして乱開発を防いだり、管理するのがどちらかといえば行政の仕事だった。しかし、どんどん人口が減っていく、パイが小さくなる社会に管理や規制はもういらぬ。どうすれば民間の人たちが、もっともっと自由に活動ができるのか、そういったお手伝いをするのが逆に行政の仕事になってきた。国も規制緩和、規制緩和というのは、こういう規制があるからあれができないこれができないと言われるのを一番恐れている。そうした中で、我々のこの島田市も考え方を大きく変えていかなければならないということで、職員には毎日そういった話をしている。民間と同じような発想、スピード感を持たなければいけない。行政は究極のサービス業だということ。行政も都市経営をしている会社である。そういう発想を持って市政運営にあたっていかなければ、これからの時代に乗り切れないという大きな思いを持って今、市政運営にあたっている。

■果たすべき役割について

- ・こういう時代だからこそ、市民と行政は相対する「相対型」の向き合って、地域ができること、行政がやるべきこと、この連携をきちっと持てる社会をつくっていかないとならないと思っているので、「市民の手による市民のための市政」を実現すること。
- ・しかしこれは、私が言ったのではなくて、昭和 28 年に森昌也さんが市長になった時にいった言葉。「市民の手による市民のための市政」を実現したいと。そして、20 年島田の市政を担って、昭和 48 年に引退されるときには、「島田は小さな都市ではあるけれども、世界に輝くコスモポリタンなんだ」と。「自分は道路を作り、市民会館をつくり、市役所をつくり、企業誘致し、量的に発展する街をつくってきたけれども、本当に住みやすい街というのは、この量的な発展の上に、質的な発展を遂げた街なんだ。」ということをおっしゃって引退された。引退された森さんからちょうど 60 年目に市政を引き継いだ私は、60 年前に森さんが見ていた時代、右肩上がりの時代とは真逆の時代に市政を引き継いでいる。しかし、目指す方向は全く同じ。今の島田市に、質的な発展を遂げて、住民の満足度を上げていくということ。それが自分の役割だと思っている。右肩上がりでなくなった新しい価値観をつくっていかなくてはならない。行政のあり方を変えていかなくてはならない。それを思いながら市政運営をしている。
- ・その一つとして、弱い立場にいる人の暮らしを守ること。これは、あたり前のことではあるけれども、先ほどからお話している現実の中では、高齢者の一人暮らしの方、高齢者の二人暮らしの方、生活保護以下かすれすれくらいの生活費で暮らしてらっしゃる方、未婚化、晩婚化が増えてきて、年齢が高くなっても結婚していない方がずいぶん増えている。そういった世帯が増え、かつまた独身の 50 代、60 代の方が老いた親をみているという世帯も増えている。やっぱり、そういった時代の弱い立場にある人たちの市民生活をしっかり守る、そういった政策をやっていかなければならない。
- ・それと同時に、若い人たちに選ばれる街にしていかなければならない。子育て支援も教育もとても大事で、島田市は子育て支援では県内でもトップを走っていると私は思っている。しかし課題はいっぱいある。例えば、今、待機児童の問題がかなり深刻となっている。保育園は今、27 人の待機児童がいる。3 歳児以上では待機児童は出ていない。金谷と川根も待機児童はいない。旧市街と六合と初倉、これが 0、1、2 歳の待機児童がいる。このため、29 年度に待機児童ゼロを目指して、29 年度中に、0、1、2 歳を専門にみる保育園を 60 人定員くらいで 2 箇所つくりたいと思っている。そうすることによって、待機児童をゼロにし、かつまた島田に行けば保育園に入れるよというようなかたちにしていきたい。そうすることによって、六合地区、旧市街に若い人た

ちが住んでくれるとありがたいなと思っている。

・と同時に、もう一つ待機児童がいるのは、放課後児童クラブ。第三小学校は市内の小学校の中でも稀にみる、定員をちゃんと受け入れることができる放課後児童クラブであるが、3月1日現在で、実は去年は4人しかいなかった待機児童が、今年125人になった。去年から6年生までみるようにしているが、5、6年生はほとんどいない。3年生、4年生が持ち上がって何人か残っている程度。しかし125人出るということは、働きに出る人が多くなったことや、お友達も行っているので、自分も放課後児童クラブに入るとか、学年が進むと児童クラブを辞めてお家にいるという方も増えているけれども、ずっと放課後児童クラブにいる子が増えてきている。学校の空き教室はすべて放課後児童クラブに使ってもらいたいと、学校と教育委員会に申し入れてその対策をしている。六合は老人施設に放課後児童クラブをやってもらおう。初倉は保育園に放課後児童クラブをやってもらおう。それ以外にも、今、放課後児童クラブを増やせないかという手立てをうって、これでやっと今の待機児童が49人となっている。125人を49人に減らせたが、まだまだ待機児童がいるという状況で、放課後児童クラブも待ったなしの課題となっている。そういった課題をしっかりと解決しながら、ここに住む人の暮らしやすさ、そして選ばれる街をつくっていかねばならないなと思っている。

・もう一つ、自分の役割だと思っていることの一つに人材育成がある。島田は長い歴史の中で、歴史のある文化力の高い文化人の多い街である。ところが、やっぱり、その人たちが声を上げなくなっていたとしたら、もう一度、島田の文化力を発信していけるような地域にしていかななくてはいけないのと同時に、若い人たちに引き継がなければならない。その世代交代が、今、一番の課題かなと思っている。地域のまちづくりのこともそうであるし、行政の経営に対してもそうであるが、若い人たちが関心を持ってくれないと次の世代が育っていかない。そういう意味では、例えば、おしゃれば一いずだとか、シマアツの皆さんとか、商工会議所、商工会、青年会議所、こういった若い方々は大変意欲的に動いているので、そういう方々を繋ぐと同時に、皆さんが元気である間に、若い人たちにバトンタッチするというか、自分たちの経験や知識や地域のことをつなげていってもらいたいと思っている。行政も今、必死で人材育成をしている。広い世界を見せるために、国土交通省や県の東京事務所や早稲田大学や自治大学や、そういうところに人を出して人を育てている。そういう人たちが帰ってくるのは来年の春になる。一期目は人材育成も基礎の基礎で終わってしまうなと思っている。しかし、しっかりと土台をつくった上で、今お話したような市政の運営ができるような基盤をつくっていかなくてはならない。

・10年先を見た時に、10年先のために、今、何を選択するのかということが首長、市長の仕事になってくるとしている。自分の任期のために、色々なものを建てたり、つくったりして、あれやったこれやったというのは簡単かもしれないが、しかしそれでは、次の先が、これからの時代の先に、それでは責任を果たせない。選択と集中を重ねるということは、一見、地味に見えるかもしれないけれど、今、大事な方向転換をしている。

稼げるまちについて

・こういった地道な暮らしを守ることと同時に、稼げるまちをつくらないと、まちの活性化はできない。若い人に選ばれることはない。そのために今年は、稼げるまちをつくるということで、昨日（12日）は島信さんの向かい側に産業支援センターをオープンした。これは、地場の中小企業の支援、そして、このまちで起業、創業したいという人たちのワンストップ、市、県、国が持っている補助金、交付金の制度、融資の御相談、副業したい、規模を拡大したい

など、様々なご相談に専門家が応えるというもので、それ以外にも、新東名の島田金谷インターチェンジ周辺ににぎわい交流拠点をつくることは2月に発表したけれども、それ以外にも内陸フロンティアで大きな土地の利活用を今、計画している。空港周辺には旧金谷中学校跡地の5.5haの土地が実はまだ活用されないままずっと残っている。そこを先日、アイデアコンペでアイデアを募集した。今年28年度は、県と市でそこにどういう事業で展開するかということを作って、土地は市の土地で、上物は県でというお話が以前あったが、県がお金がなくて、それもできないなら、民間の力を使ってでも早期にそこを開発したいと今、思っている。こうした稼ぐ拠点を作っていくということも一生懸命やっている。

医療制度改革への対応について

・少し具体的な話になるが、4月から役所の組織を少し改編した。新しくつくったのは2つだが、保健福祉センターに包括ケア推進課をつくった。健康づくり課と長寿介護課の間をカバーするようなもの。包括ケアとって、在宅支援、年老いても元気で暮らせるという社会をつくるための包括ケアを担当する課となる。もう一つそこに、24時間訪問看護ステーションをはじめた。これは、2025年という団塊の世代の人たちがみんな75歳以上になる年を、一つの目安にして、国は大きな医療制度改革をしようとしている。それは、施設や病院から在宅へという流れ。病院の入院日数も短かくしていく。施設にも入らないで、できるだけ在宅で面倒を診られるようにして、本当に悪くなったら病院に入ってもらおうという考え方。国も毎年1兆円ずつ医療費が伸びているため、これを何とか抑えないと国もギリギリ。借金が国民一人あたり1,000万円も国の借金がある。4人家族で4,000万円の借金があったら、目がくらむ。普通の家庭であったら。しかし、国の借金だから我々はぼんやりと考えているけれども、そういう日本の現状の中では、医療費の削減というのは国は一生懸命やっている。そうした中での2025年問題。在宅への流れの中で、安心して在宅で養生してもらうためには、24時間いつでも医師の指示書のもとで、医療行為をする看護師が行くという制度。これは4月1日からはじめた。事務所は病院の裏側に健診センターがあるがその3階に、24時間訪問看護ステーションの事務所を置いた。8人のナースと担当の室長がいる。お医者様の指示書にそって24時間いつでも電話で応えてご自宅まで行って医療行為をする。介護保険がきくので、1割負担ということでそういう制度をこの4月からはじめた。

・もう一つは、市長戦略部というところに、広域連携病院支援室というものをつくった。これは市民病院を平成32年を目途に建設することになっているので、この病院の建設の後押しをしていくための推進。また、広域での連携、志太に3つの病院がどこも30分以内に行けるところに500床の病院が3つある。榛原病院を含めると4つになる。医師がだんだん不足するときに、病院間の例えば機能別というか、うちは循環器が得意だからよその病院からも来てください。よその病院に得意な分野があれば、その分はこちらからも行ってもらう。こういうような連携はできないかということも今、探っている。

・20年後、30年後の志太の病院が今のままでいいということはどの首長も思っていない。それは確かだと思う。私も広域化が必要だと思っている。しかし、いますぐは、とても難しい課題がいっぱいある。お医者様にそっぽむかれたら病院は維持できないし、そうした中で、どういう連携からはじめられるかということを探っていく。

■市民会館と市役所の建替えについて

・市民の多くの皆様に御心配をいただいた。17,000人にも及ぶ署名を集めていただいて、市民会館はまさに島田市民にとって誇りの場所。昔はたくさんの芸能人も来たし、観光バスもたくさん来たし、島田に市民会館があるということは我々の誇りの一つであった。県内でも2番目に早くできた市民会館である。老朽化が進み、耐震性がないということで5月くらいになると思うが解体作業に入り、10月くらいには更地になって、広い駐車場と、イベント広場、街中の災害時における避難場所等にしばらくの間使わせていただきたいと思いますと思っている。

・2年間も放置したことで、市民の皆様からは、決断が遅いとか、何を考えているんだとか、壊すなら早く壊せとか、色々とお話をいただいた。私の心の中にあっただのは、市民会館と同時に市役所も築53年経っている。だいぶ老朽化して、雨漏りのしみも、市長室でさえしみだらけ。耐用年数も過ぎて、あの市役所はどうするんだということがあった。合併特例債というのは、平成32年まで使えるが、それを使って建てれば財政的にはいくらか助かる。非常に難しい選択だったが、私は今年の春、やはり市役所はもうしばらく使うんだという決断をした。その理由は、病院も合併特例債を使うので、平成32年までにつくらなければならない。今、247億円という予算をたてている。こうした中で、稼げるまちをつくっていくためには、それに投資する自主財源も必要になってくる。やっぱり市役所はしばらくの間、後になっても仕方がないと思った。もし市役所を建てるのであれば市民会館のところしかない。壊して新たなものを建てるのであれば国の補助金が出る。国もまだ世の中の変化に追いついていないので、壊すだけだと補助金が出ない。市民会館を壊すことによって、いくらかの補助金はもらえるかなと思っていたが、市役所はもう少し後回しという判断をしたので、市民会館を取り壊すということで今年の11月補正予算で設計費用をあげて、今年度の当初予算で解体の費用を入れている。市民会館のホールはこの直近の5年間の利用状況では、本番で30日、練習日を入れても70日しか使われていない。そのような状況で、また70億円、80億円かけて造るのかというと、大きなホールは暫く広域で使わせてもらったほうがいいという判断をした。島商の吹奏楽のような大きな舞台を必要とするものは、今、焼津や菊川の市民会館を使わせていただいている。こういった広域で使うものについては、1回あたり50万円、市が補助するという形で運搬費とか施設を借りるお金を補助している。島田には、おおるりも夢づくり会館もチャリムも500人から660人入るホールは3つある。オーケストラが乗る大きな舞台はないが、今しばらく市民会館は我慢していただいて、今度市役所を建てるのが正式になった時に、複合施設として建てられるかどうか、その時また市民皆様のご意見を伺いながら考えていけばいいじゃないかと思う。

■蓬莱橋周辺整備について

・蓬莱橋は、たくさんのリピーターが来る市内の観光名所だと思っている。物品販売所もお休み処もないということで、長く皆様からご要望をいただいていた。今年の4月にミズベリングという協議会を立ち上げ、国土交通省も規制緩和に動いて、お休み処と物品販売所を造れることになった。地元協議会をつくって意見を聞いてからということになっているので、この4月に協議会を立ち上げて、早ければ28年度内、遅くても来年の春までには、蓬莱橋のところに、観光客の施設を造りたい。そしてそこに勝海舟が、牧之原の開拓の中条景昭たちの幕臣たちがやったのだけれども、その中条景昭を指示したのは勝海舟であるので、勝海舟の銅像と、勝海舟が開拓団のために励ましの手紙を送ったその手紙が最近千葉県で発見されたので、本当に胸が熱くなるような手紙なので、その手紙も合わせて石碑に彫りこんで一つの名所にしたいと思っている。4月1日から橋脚のライトアップをしている。LEDの強い機械を

10 基ほど置いて、2ヶ月間ライトアップするので、毎晩7時から9時までライトアップするので、近くに行っていたらありがたい。

■新市民病院の建設について

・先日、設計会社が決まって、おおよそ7階建ての病院を造ろうと、屋上にヘリポートを置いて445床の病院ということで、今年度中に基本設計をするというはこびになっている。島田は市民病院しか入院のできる場所がない。よそとは違う特別な事情もある。市民の皆様が安心してのどころとしての病院をしっかりと造っていかなくてはならない。同時に医師の確保をしっかりとやっていかなければならないということで、2、3ヶ月に一度は、浜松医科大学にも私が通って学長にお願いして、ずっと3年間続けている。そういう信頼を持っていかないと、今まであなたの病院は京都大学系と言っていたじゃないかと、いまさらなんだと言う話になって、最初に行った時には怒鳴られた。しかし、足しげく通えば信頼を築いていくこともできるし、来年以降、浜松医科大学からは、年間70、80人、静岡県内に留まる医者を輩出することなので、そのお医者様たちに島田を選んでいただけるようにしていきたいと思っている。

■街路樹と島田駅南口のステージについて

・皆さんにご相談というか、自分自身心を痛めていることとお話をさせていただきたいが、横井の通りの街路樹。2年前も鉛筆のように強剪定された街路樹を本当に痛々しいと思って見ていた。担当に聞いたら、葉っぱが落ちたら雨どいに詰まるとか、滑って転んだらどうするとか、色んな市民の皆さんのご意見もあって、葉っぱが落ちる前に切れと言われていた。何度も何度もお電話いただく中で、そうせざるを得ないと言っていた。一昨年は7年に一度の強剪定だと言っていた。去年も同じように鉛筆みたいになってしまった。写真も撮ってここにある。プラタナスで根が強くなく、樹齢60年にもなって、命の限界も迎えている。私は皆さんに本当に街路樹が必要だったら、皆でその期間、剪定の代わりにシルバーセンターに頼んで落ち葉を掃くこともできるだろうし、そこは考え方だと思う。本当に街路樹がいらないのなら全部切って低木のつつじとか、そういったものに植え替える。そのほうが見通しが良くて皆さんが望むのなら。しかし、街路樹が必要だったら、皆で緑の街路樹を楽しんだり守ったりできないと寂しいと思う。もちろん生活者の視点になれば困ることもいっぱいあるわけなので、当然のことだと思うし、車の通行量も昔とは違うので見通しが利かなかつたら困るし、色んな課題があると思う。街路樹を今後、どうしていったらいいかということについては、地域の皆さんのご意見をいただきたいと思っている。皆さんのお声がもういいよということであれば切るし、街路樹はやっぱり必要だということであれば、プラタナスがダメであればほかのものにするなり考えていかなければいけないし、そういったことも皆さんで検討をしていただければありがたいと思う。

・駅南のステージについては、駅南のフェスタ（横井のお祭りの時）の時に使っていただくだけで、普段は使われてないということで、皆さんからももっていないというお声もいただいている。そのとおりだと私も思っている。ただ、それを営業に使わせるかということ、営業にはどうかなあと思うので、どんなふうにしたらあそこを活用できるのか、これも是非皆さんの声を聴きながらやってまいりたいと思っている。是非、忌憚のないご意見を聞かせてください。

③質疑応答

| 番号 | 質問内容 | 回答内容 |
|-----|---|---|
| 1-1 | <p>■防災倉庫が横井町の公会堂に2つある。横井は2丁目、3丁目、4丁目とあって、現在、分散して設置する考えがある。まずは2丁目に設置していきたいと考えている。ただ、横井町には、学校、公園等の官地がないので、市の空き地があったら教えていただきたい。具体的には、パチンコタイホーの南側の空き地があるが所有者側がわからないので市の方で分かったら教えていただきたい。</p> | <p>●課税課で公図と土地台帳で所有者を閲覧することは可能であるが、現在、縦覧期間であるので、それができない。（5月末まで縦覧期間）市有地も、この横井の中には（防災倉庫を設置するような）場所がない。あればそこを使ってもらえることができるが、2丁目に設置する防災倉庫の場所は確保されているのか？（確保されているとの回答）この防災倉庫については、危機管理課に明日にでも話をしておくので、また相談をさせていただく。 【検討事項1】</p> |
| 1-2 | <p>■シルバー人材センターの土地については、敷地も広いので適地だと思う。管財が管理していると思うので…。</p> | <p>●あそこは県の土地となっている。</p> |
| 1-3 | <p>■福寿荘の跡地が適地だと思ったが、市で競売するとの話だったのであきらめた。</p> | <p>●この件については調べさせていただく。</p> |
| 2-1 | <p>■横井町、南町、高砂・宝来町で島田駅南口周辺地域まちづくり推進会議を組織しているが、立地条件で横井中心にならざるを得ない。これらの活動が独自の自治会活動と同時進行するため中心役員が多忙になってしまうことに加え、財政基盤が非常に弱い。設立当時は、行政からの要請により組織し、まちづくり支援事業交付金の交付を受けて運営していた。ただ、この、交付金も1回限りという制限が付けられ、3年間は財源も無いまま運営してきた。行政が地域に持ち込んだ組織というのは、他の地域にあるのか。</p> | <p>●行政が地域に持ち込んだわけではないが、道悦にも「道悦島まちづくり委員会」があり、初倉にも、最近「初倉まちづくりの会」というものを結成し、自分たちでやれることを探そうということで、先日ご挨拶に来ていただいた。湯日川の護岸の整備のお話などをいただいている。 ●また、コミュニティ組織、コミュニティ委員会が六合をはじめ、初倉、伊太、相賀、神座・鶴網、伊久身、大津、金谷で組織されている。それから、NPOで川根がある。</p> |
| 2-2 | <p>■そのような組織は、自治会と分離されていると思うが、島田駅南口周辺地域まちづくり推進会議は自治会の中に組織されている。他の組織と事情が違う。</p> | <p>●自治会の中に組織されているようなものなのですね。まちづくり支援事業交付金も今年度から制度を見直して、6年間交付できるようにした。 ●横井の皆様には、まちづくりに一生懸命やられていることに感謝したい。特にお祭りの時に、駅南は横井の皆様を中心にして動いていると思っている。この周辺は、大きな自治会と小さな自治会が混在する地域なので、運営はなかなか難しいと思っている。行政がああしなさい、こうしなさいとは言えないが、学区ごとに固まったり、町内会の統合とか、こういうことはこれからの課題であると私自身は率直に思っている。小さいところは役員になる人がいない。毎年役員をやっていないければいけなくて、それも高齢化でできないとなってくると、本当に統合しないと、役員数を減らさないと現実に直面しているところも出てきている。68自治会あるが、私の方からいうお話ではないが、自治会の中で、自治会のあり方を今後の課題としてご協議いただければありがたい。 ●今年、統合していただける自治会に対しては、補助金を出すという予算もつ</p> |

| | | |
|-----|--|--|
| | | けている。是非、協働推進課にご相談をいただければと思う。 |
| 2-3 | ■この話を出したのも、特種東海製紙の横井工場の今後については、我々にも影響すると思う。 | ●特種東海製紙横井工場の土地について、私が知っている限りということであれば、今年の夏までに操業を停止して、29年度中には更地にしたいということを知っている。その後の使い方については決まっていなくて聞いている。社長がこの4月に交替をした。特種東海製紙の向こう（向島）はまた別会社になるとの話も聞いているが、この駅南の土地は特種東海製紙の土地なので、これからは交渉を進めていきたいと思っているし、何に使うかによって、行政もお手伝いできるところはやっていきたい。 |
| 3 | ■いつから始まったかわからないが、マンボウの掃除（島田駅西側の線路下の通路）を横井町の周辺地域のお年寄りが中心に当番でボランティアとしてやっていたが、いよいよ年寄りだけとなり昨年解散した。市にお願いをしたいが、駅南口広場はシルバーさんが掃除をしており、そのときと一緒に掃除をやってもらいたい。冬の風に強い時などゴミ（枯葉）が吹きたまり掃除をしなければと思われることがある。 | ●すでに、そのようなことを指示している。駅南口広場の清掃と合わせ、マンボウ周辺の清掃をシルバー人材センターへ委託する方向で話を進めている。 |
| 4-1 | ■街路樹について、一昨年、警察署からの依頼で交通障害となる街路樹の調査を駅南まちづくりが行い、調査報告書を警察署に提出したが行政には廻っていない。昨年秋に大風で2本が倒れ、その後に土木管理課が古木の調査をして最近12本を切り倒した。この伐採の後に切り口を見ると首の皮1枚の状態のものもあり町民の目にさらされているが、このままでよいものか。 | ●12本くらいあって、あと30本くらいあるということを知っている。樹齢から皆さんのご同意がいただければ根元から切るとすることも選択だと思っている。そこは、お話し合いをいただいて、ご同意をいただければ都市基盤部の方で対応する。 |
| 4-2 | ■伐採して植え替えるという環境であるが、個人的には、はなみずきでも植えて、横井はなみずき通りとすればどうか。 | ●はなみずきは手入れがいいと、きれいに咲く。街路樹の周辺の人が手入れをしてくれるときれいに咲くと思うが、そうでないと枯れているはなみずきもあり、かわいそうなので、そこに新たなものを植えるのか、低木にするのか、そのこともあわせて、御相談いただければと思う。 |
| 4-3 | ■市の方の管理体制が我々の方には伝わってこないで、市民の声を聴くだけではなく、市からの考え方も出してほしい。 | ●一本だけ切り倒して、一本だけはなみずきというわけにもいかないのだから全部やるので、一本切ったところに植えるということがやっていない。40本危険な木があって、そのうち12本を切った。全体の樹齢を考えると、今年の台風シーズンより前に、やったほうが良いならば、横井の方から切ってもいいということであれば、そうさせていただく。 |
| 4-4 | ■切ってもいいという要望は出してある。 | ●自治会の要望としていただいているのか？ |
| 4-5 | ■まちづくり（推進会議）として、交通障害ということを主に調べて出してある。2年前くらいには、住宅を建てる場合にも障害になることもあるので、切ってほしいと市に申し入れをしているが、法律により切れないと言われた。 | ●最近では県道でも街路樹のない県道もある。低木でつつじとかを下に植えているだけというものもある。植えなければいけないということはないと思う。 |

| | | |
|-----|---|---|
| 4-6 | <p>■直径12センチのプラタナスを植えなさいということが何回も耳に入ってきている。</p> | <p>●調べてはみるが、少なくとも私はそういったことはないと思っている。 街路樹がなきゃいけないというのは、県道の例からも「道路に街路樹がなければいけない」ということはないと思う。【検討事項2】</p> |
| 5 | <p>■押しボタン信号機について、島田駅南口交差点に信号機が設置されたため、警察署から横井町の加藤元市長宅西側にある信号機を外したいので町民の同意を得てくれとの話が自治会にあった。しかし、町民全員の同意は難しく、結論は出さずに置いた。</p> <p>昨年秋にその信号機を大井川土手道路の女子高校生の死亡事故があった交差点に移したいがどうかの相談が出された。そのことに関し、警察署から行政には何か連絡があるのか。また、第三小学校の今年の新入生は40人となっており、学校に行くときは（信号機を）使わないとしても、遊ぶときなどに使うこともあると思うので、信号機を一回取ってしまうと、何かあって付けてくれと言っても付けてくれないと思う。警察から行政に撤去しなさいとか言ってきているのか。</p> | <p>●お話のありました信号機の話については島田警察署から全く話がない。街路樹の件も同じであるので、今度、署長にあったときには申し入れをするつもりだが、私としてはいかがなものかと思っている。今回いただいたお話の内容は島田警察署に伝え確認できた。信号機を新しくつけることは、警察も予算があつて、なかなか難しい。昨年島田市で付いたのは2箇所のみ。そういう状況の中で、あまり使っていない信号機を外して、需要があるところに持ってきたいということらしい。しかし、それを地元だけに投げて地元の判断だけに任せるといのは、いかがなものかと思う。地元もそれはなくていいよとは言えないし、そこでもし事故があれば、それ見たことか、信号を外したからだと言われる話になるわけで、必要だからつけた信号であるから、それを地元に向けて、地元がいいですと言うことはできないだろうと思うし、不用になったかどうかの判断は、警察が判断すべきだと思う。このようなことは、行政と警察の意思の疎通を密にしていかなければいけないと思っている。</p> |
| 6 | <p>■大きな事故が南口周辺であつて、その度に対策会議とかを開催して、頼まれて色々動いて、その内容が当然、行政の方にも流れていると思うと流れていないということがある。これは、お答えいただいたので、そのようにお願いしたいが、私が残念だと思っているのは、風で木が倒れたときに、我々に何の連絡もなしに朝早く来て切って、住民が知らないうちに隠密に処理しているようにも見え、正々堂々とやってほしい。</p> | <p>●そこは行政がまずかったなど、このお話を聞いて思った。担当からは防災委員の方にお話をしたので自治会長さんのお耳に入るかなと思っていたようだが、今回は、自治会長さんにもお話をしておく内容のことであつたと思う。こういうことがないように、私の方からもいっておく。申し訳ありませんでした。</p> |
| 7-1 | <p>■問屋川沿いの樹木について、基本的には低木の「つつじ」高木は「はなみずき」のように見えるが、近隣の方々の好意で草花をはじめ色々な樹木も植えてある。昨今は「蓬莱橋」へのお客様もこの川沿いに行く人も多く、現在は全く無管理状態となっており見た目にもよくない。今少しさっぱりとした形に整理できないか。</p> | <p>●平成27年度は8月に灌水（水やり）、低木の剪定、除草、10月に高木剪定、除草、2月に枯木処理を実施しているので、無管理の状態ではないが、近隣の方々が御好意で植えられた草花のある箇所は、もしかしたら統一感がないのかもしれないということも含めて、ブロックごとにやるとかは樹木の管理と一緒に、地元の方とお話し合いを持つ機会をつくらせていただければありがたいと思う。担当は、土木管理課ということになる。</p> |
| 7-2 | <p>■樹木の剪定はきれいにやってくれているが、川の方に出ている枝は切ってくれない。鳥が運んできて育った樹木は伐採してもらっていいと思う。</p> | <p>●そのあたりについては、話をしておく。是非、皆様方と一緒に、問屋川の樹木、せっかく市民の方が植えていただいた、かわいがっていただいている草花なので、そういったものもあわせて、一緒にやっていきたいと思っている。土木管理課もお互いにルールを作ってやってみたいといっていたので、お話し合いのお時間をとっていただければありがたい。</p> |
| 8-1 | <p>■問屋川の水門管理について、私は昨年「水門管理者」になっ</p> | <p>●市内に69人くらい水門管理者をお願いしている。大水の時や台風の時には特</p> |

| | | |
|-----|---|--|
| | <p>たが、仕事の内容がはっきりしない。水門の管理者は町内の皆様に「土木管理課」から委託されており、何か問題発生時の連絡を「土木管理課」にすることが役目であると口頭では聴いているが、その役目を書かれた資料がない。「土木管理課」に請求すると現在作成中とのことだが早急をお願いしたい。</p> <p>■先日の「川ざらい」のときに横井町にある問屋川の水門が開けられず作業ができなかった。そこで川ざらい担当の「環境課」に電話したところ一番元の水門は閉めてある。個々の水門は「管理者にお願いして開けてください」との返事であった。小雨の中で住民が作業している身近なところで縦割り行政を見るようで、しっかりとやってほしい。</p> | <p>に監視をしていただいて、水門をあけていただいたり、市民に直結するところの災害を守っていただいている人たち。その方々にマニュアルがないという話を聞いたものだから、担当部長に確認した。これまでは、長い間、同じ人が水門管理をするということで、口頭でやっていたとのことだった。これでいいわけではないので、水門の管理のマニュアルが今週やっとできたところ。今日出てくるときもお届けしたか確認したら、今週中にお届けしたいということだった。</p> |
| 8-2 | <p>■ちなみに、水門の開閉のタイミング（判断）は水門の管理者が行うということになるのか。（鍵があると思うが。）</p> | <p>●そういうことがまさに指示をしていかないと、初めての方は分からないと思う。マニュアルに書いてなければ土木管理課に相談をしてほしい。</p> |
| 8-3 | <p>■お正月に断水するが、住民からはいつまで断水するのか聞かれても、市から町内にも連絡がないので、市に聞くと、あれは農業用水なので農林課に言ってほしいとたらいまわしにされる。そういった窓口をはっきりとしてほしい。</p> | <p>●一昨年の暮れから去年の正月にかけて、特種東海製紙の火事があったときも、実は断水だったために水がなくて大変苦労をした。川口の取水口がとまることについては、しっかりと身に付いた。3日か4日くらいまでとまる。</p> |
| 8-4 | <p>■広報に載せてくれれば。</p> | <p>●広報への掲載ということだが、同報無線ということ思い出したが、今年から、同報無線が聞き取りにくいという場合には、電話で同報無線の内容を聞くことができる。その番号は、37-5600になる。</p> |
| 9 | <p>■放課後児童クラブについて、第三小学校の放課後児童クラブの人員は、新入生 40 人のうち 15 人が入ることになった。昨年度までは定員にかなり余裕があったが、今年度は急に増加をして特に夏休みには定員オーバーが予測され、教室面積及び指導者の不足が心配される。特に夏休みは朝からの勤務となるため、指導員の負担も大きく、不足が予測される。また、45 人定員であっても、三小の児童クラブは狭い。夏休みに 40 人も抱えたらすし詰め状態となってしまう。市議会での市の答弁も、職員の待遇改善などのお話があったので安心はしているが、現在の教室はトイレが遠く体育館まで行かなくてはならず、トイレで数も少ない。簡易トイレの設置などは検討できないか。</p> <p>■第三小学校の決算はいい。26 年度の決算でも、予算と決算との差として 843,000 円ほど。執行残が出ているので指導員の給料を上げるとか、人を増やして負担を緩和するなどの措置ができないか。また、利用者から見ても負担の軽減ができるのでは</p> | <p>●それぞれの決算書を見ていないので分からないが、放課後児童クラブ全体のこととお話すると、今までは、学校教育施設と放課後児童クラブとは分離され、学校の同意がなければ使えないなど難しい問題があったが、市の教育施設なので、少し強い権限を持って学校施設を使いますということで、学校、教育委員会に通知をしている。一小、二小、四小、金谷小はすでに改築が始まって、この 4 月ないし連休明けには間に合うところも出てきている。初倉など校庭に作っているところや改築は夏休みにするということもあって、大幅に待機児童の改善を図っていく予定であるが、実は、放課後児童クラブは三小は経営が黒字ということであるが、全体として掛けている投資はものすごく大きくて、市としても施設を一箇所造るのに、2 千万円、3 千万円かけながらやっている。指導員の給料もこの 4 月からあげている。確か主任指導員が 1,000 円くらいになった。指導員は 900 円になったと思う。一番の課題は、指導員がいないということ。保育園も保育師がいなくて困っているが、本当に働きたい方は、フルタイムで朝から働く。放課後児童クラブは 2 時から 6 時くらいまでの夕方 4 ～ 5 時間。本当に働きたい人はその時間ではない。子どもの面倒を見てもいい</p> |

| | | |
|-----------|---|---|
| | <p>ないか。</p> | <p>よと言う人になってしまう。できれば、男性の皆さんのような、元気な方たちが放課後児童クラブで、子どもの相手をしていただければありがたい。何の資格も要らない。一緒に遊んでいただける。見守っていただけるだけでありがたい。昔の遊びを教えていただいたり、毎日でなくて結構なので、夏休みだけと言うならそれでも結構なので、指導員をやってもいいよというかたがいらっしやったら、指導員の方をお願いしたい。</p> <p>●放課後児童クラブは、これから6年生までみんな行くようになると思う。ある意味、安全に過ごせるからいいという方もいらっしやる。一方で、6年生まで放課後児童クラブにいて、中学一年生になって、自分で生活しないさいと言われた時に、本当に大丈夫なのだろうか。子どもをたくましく育てる、鍛える、挨拶をきちんとさせる。そういうしつけがすごく大事だと思っている。地域総ぐるみで、子どもを育てるということは、島田の教育方針にしている。みんなの眼が行き届いて、我慢することも覚えなければいけないし、時には危ないこともさせてみなければいけないし、人間を育てているのだから。みんな危険を排除して、しかられたこともなくて、おやつも残すくらいいっぱいあって、大人になってずっとそのまま同じように暮らすわけにはいかないの、どっかで厳しい目に遭う。子どもを守りながら、暖かく厳しく育てていくことが大事なかなと思う。</p> |
| <p>10</p> | <p>■ 駅南口駐輪場南側の駐車場の利用について、現在、通称臨時駐車場は利用されておらず、われわれが年1回のえきなんフェスタのガレージセール会場として借用しているのみと思う。今後、常用駐車場とするのか、或はあくまで臨時駐車場として現在の形のまま置いておく予定か行政の計画を教えてください。</p> <p>■ 駅南階段広場のステージの利用について、島田駅南口開設以来、階段広場のステージは年1回「えきなんフェスタ」が利用しているだけで他のことで行事等が行われた記憶はない。行政としては、もっと宣伝をして利用させることをお考えしているか。</p> | <p>●駐輪場の南側のスペースは駐輪場の用途となっている。もしほかのものに使うならば、建物を建てるにしても、駐車場で使うにしても、用途指定を外さなければいけない。今、駅南は24時間使える駐輪場だが、つい2、3日前にも、市長への手紙で、北口にも24時間に駐輪場がほしいという要望があった。しかし、北口には民間で経営されている方もいらっしやるので、民間の営業を妨害することにならないように配慮している。あの土地はもったいないと常々思っている。今のままでは他に使えないということなので、用途指定の見直しも含めて、市の方で検討をさせていただきたい。</p> <p>●木製の階段については、おび通りのステージと同じように、行政の方としても、無料で、例えば幼稚園の発表だとか、音楽会だとか、そういったことに使えるステージとして、PRをするようにする。去年から音楽会をやる時の音響機器は、文化課の方でフルセットそろえたので、無料でお貸ししている。使い方が分からない場合には、ボランティアがそれを動かすということまでやっている。文化課にいつてもらえれば、その音響機器を使って皆様方の昔懐かしいバンド演奏をやっていただいたり、コーラスやら色々なことをやっていただけるので、使っていただきたい。ステージも市民の皆様に無料で使っていただけるように、少しPRさせていただきたい。おび通りのステージも、毎週土日、</p> |

| | | |
|------|--|--|
| | | あそこで何かをやっているとすると、人が来ると思う。そういう仕組みをつくっていかねばいけないが、毎週土日に音楽が流れているとうるさいと言う人もいたりして、なかなか難しいなあと思うが、駅南の方は比較的土地が広くまわりも空間があるので、あの階段を活用することはできると思うので、南口階段のPRをしていく。 |
| 11 | <p>■イナズマガードについて、一方通行になっているが、逆走が多い。駅の交番で巡回しているので、会えば必ずお願いするし、交通課の警官にもお願いしているが、一向に改まらない。逆走するということは、おそらく標識が見難いと思う。もう少し、見やすい標識をつけてもらえるように、お願いしているが、一市民からだと警察は聞いてくれない。できれば市の方から言ってほしい。</p> | <p>●私も逆走にあったことがある。危ないなあと思った。向こう側の標識がどうなっているのか、ちゃんと通る人たちからは見えないので分からないが、標識が見にくいのか、分かっているか入ってくるのか。数年前までは（工事の時の間は）、人を置いて相互通行していた。生活安心課を通して警察にはお話をしておく。【検討事項3】</p> |
| 12 | <p>■街路樹について、頭を切ってしまうので、下枝が出る。この下枝が出てくるがゆえに、交通の障害になっている。歩行者が発見しにくいとか、車が発見しにくいとかということになっている。市の方でも下枝を刈ってくれていると思うが、もう少し、伸びる前に切るようにしてくれると助かる。</p> <p>■プラタナスのほかにゆりの木があって、そのゆりの木を消毒する意味がわからない。プラタナスは消毒することは分かるが、恐らく四丁目の方にある。南町の方は銀杏になる。</p> | <p>●街路樹は先ほど申し上げたとおり、土木管理課とのお話し合いの中で、皆様の御意見を聴きながら対応していきたいと思う。</p> <p>●ゆりの木がどういうものか分からないが、専門の人たちが消毒をやっているものだから、聞いてみる。【検討事項4】</p> |
| 13-1 | <p>■蓬莱橋について、来年中にお店を出すということだが、蓬莱橋は島田市の財産。昨日も今日も観光バスが午前中を中心に停まっている。県外の自家用車もいる。島田市にお金を落とすにきてくれている。こういったことから、来年に物販所やお休み処を造るのではなくて、もう少し早い段階で、今年の帯まつりまでに、まちづくり島田に仮設の売店を作ってもらうなどして対応したらどうか。あそこに行っても何もないという評判が出る前に早く手を打ってほしい。</p> | <p>●おっしゃることは良くわかる。国土交通省の規制緩和は本当に難しく、今ある番小屋も水防小屋として建っている。トイレ一つとっても非常に難しい中、これまでずっとダメだと言われてきたものを、地元で協議会をつくって、その協議の結果であれば認めるということなので、4月に立ち上げて夏までにはまとめてということは思っている。補正を組んでも協議会の方針が出れば、今年度中にやりたいと思っているが、10月の大祭に間に合うかということ、これはなかなか厳しいと思う。株式会社まちづくり島田がワゴン車の販売車を持っている。あれも、毎週土日に来ているとか、ほぼ常設みたいだとダメだと言われている。ほんとにイベントの際くらいならいいが。許可が大変難しい。大祭の時には、まちづくりの販売車もどこに出すか分からないが、たぶん出すと思う。それから、百人会議とあって、2年前からやっている観光分科会の人たちが、連休の時、必ず島田の物産をボランティアで売ってくれている。右岸と左岸の両方でやってくれていて、右岸でやったときは品切れになったということで、橋を渡って品物を調達してまた戻ってというくらい、大変なご苦労をしながら、どこから御出でですかとか、蓬莱橋どうですかとか、一生懸命にやって</p> |

| | | |
|------|--|---|
| | | <p>くれている人たちがいる。そういう人たちの思いも、今回の蓬莱橋に物を造ることを許可していただける大きな力になっている。今、国を動かすのは、地元の人たちが、どう動くかということがすごく大きい。もう一つは、ストック効果といって、この道ができたなら、今まで30分かかるところが15分で来れるとか。通行台数がこれだけ増えたとか、この周辺の人口がこれだけ増えたとか、子どもの数がこれだけ増えたとか、企業進出が何件あったとか、こういう結果を持ってこいという。その目標値をしっかりと持ってきて、その結果を出せと。そうでないと、橋も道路も色々な予算がつかない時代になっている。前は要望して予算をつけてもらおう、橋を造ってもらえばよかった。今はそれではダメ。それをやればどれだけの効果があるのかという目標値を設定して、その結果を見せろと言う。我々もその効果をいつも出しながら国土交通省に行き話をしてもらっている。蓬莱橋も市民の皆様様の熱い思いがあって、今ここにこぎつけているので、大祭には間に合わないが、ボランティアの皆様もまちづくり島田も何らかの形では動くと思う。</p> |
| 13-2 | <p>■NHKのトト姉ちゃんにも出てくるので、ああいうのをPRすることも必要ではないか。</p> | <p>●例えば蓬莱橋を使った写真コンテストとかを年間通じてやるとか、この前も新金谷駅でトト姉ちゃんの収録をやっていた。島田はかなり色々、あの番組に使っていただいているので、そういうものを使わないともったいない。その使う方法を、行政もそうだが、皆様にも御意見をいただいて、一緒にやれるところは一緒にやっていきたいなと思っている。</p> |
| 14-1 | <p>■民生委員・児童委員は地域の福祉を担っているが、行政から依頼事項、調査依頼がある。その中で、現場を見ない発令が見受けられる。例えば、災害時の要支援者の把握の仕方、居場所づくり事業など、市の財政の関係もあって、市民の力、地域の力をいうことで依頼をされるが、現実に合わないような要求が出てきていることが見受けられる。市の方も、もっと現場を見てもらいたい。現場の意見を聴いてもらいたい。現物を見て現実をよく知ってもらいたい。民間では、三現主義に基づいた、色々な調べ方をしたうえで行政からの指示事項を出してもらいたい。</p> | <p>●おっしゃるとおりで、今週も三現主義の話を職員にしたばかりである。市民のところに行き、一緒に見せていただいたり、現実に向き合うことで、その現場を見る、課題を見て解決方法を見出すという中で、そのやり取りが、一番最初にお話した、市民と行政との「相対型」の行政のあり方だと思っている。その結果が、きちっと上がって、その分析がされるならば、それは施策として、当然生きてくる。市民と本当に向き合いながら、やれる市政を目指すんだという話を常々している。それでまたこのお話なので、私としては胸の痛いところだが、ただ一方で、地域にできることは地域で、自分たちでやろう。自分たちが好きなこの横井のために、島田のために自分は何ができるんだろうという考え方はこれから必要になってくると思う。民生委員の皆様には特に、多くの仕事をかぶせてしまっているような気がして、集まりのたびに、本来民生委員の仕事でないものは省くよという話をさせていただいている。本来の仕事とにかく向き合っていたらという話はさせていただいている。居場所づくり事業については、居場所づくりが必要だということは皆さん分かっている。その居場所づくりをするために、地域の人たちがそこで見守りというか、いないとなかなか成立しないというか、行政の方は20万円の開設</p> |

| | | |
|------|--|---|
| | | のための補助金を出している。保健師を月に一回とか行くこともできる。しかし、日々集るお年寄りの見守りするには地域の人の力が必要だということになる。 |
| 14-2 | ■行政も地域にそういう人材がいるという言われ方をするが、自治会の役員を決めるのにも厳しい状況にある中で、色々なかたちで地域に下ろされてきても対応できない。現場の意見を聞いてほしい。 | ●これからも、ことあるごとに職員の方に話をする。しっかり向き合えるようにしなければいけなし、きちっとやらなければいけないことがまだまだある。 |
| 15-1 | ■横井球場について、耐震工事を行っているが、電光掲示板に替えるということではできないか。今の球場は点数は手作業で行っている。あの状態だと色々な試合は持ってこれないし、持ってこれないということは、島田にお客さんを持ってこれないということになる。例えば、決勝までできるよというくらいの設備になっていけば、よりいいかなと思う。特に島田の球場は交通の便が良いので、アピールのポイントになると思う。 | ●私も同じことを考えた。夏の暑い盛りに得点盤の裏で点数を変える人は本当に大変だと思うし、何とかならないかと職員に聞いたら、だいたい3,500万円～4,000万円くらい電光掲示板にかかるそうだ。今、球場は芝生の養生、耐震化、ナイター設備の塗りなおし、ベンチの改修も行っている。経過は分からないが、ものすごく長い時間、何も手入れしてこなかった。このため、医務室、選手のロッカー、シャワールームなど古いまま。今順番にやっている。電光掲示板はすぐにとはいかないが、球場と横井の運動公園は、市民の利用度の高いところなので、人工芝のサッカー場を造ったように、お金をかけて、順次手入れをしてやっている。 |
| 15-2 | ■野球をやっている人に聞いたが、球場の両翼が狭い。だから、試合がこない。電光掲示板は、静岡球場が新しくする時にくれるとかという話があって、ただすごく運搬にお金がかかる。震動に弱いので1億円位かかるそうだ。 | ●それも言われた。課題の一つだということは十分に承知している。 |
| 16 | ■国土交通省の問題だと思うが、マラソンコースを歩いてみると、ほぼ水平に近い目線で、河床が高い。あれは花火大会のために砂利がいっぱい堆積していると思うが。水害があったとき、川に水を溜める量が、岸の方に寄せてきて、堤水護岸まで超えそうな感じを印象付けられる。 | ●花火大会のために浚渫していないのではない。大井川は護岸の整備率が95%で全国的にも高い。そこに流れ込む小さな河川があるので、そういう河川が大水のとときに、逆流してしまうことが起こらないように、新たな対策を静岡河川事務所が数日前に組織を立ち上げたりしている。大井川は長いこと大きな水害はない。河床が高くなっているのは、上流にダムが15あって、水の流れも昔に比べれば少なくなってきた。そういう堆積物が河口まで流れていかないものだから、河口の海岸線は痩せてきている。河床の問題は大井川に限らず、浚渫がなかなかできない。これも国土交通省の浚渫の予算が十分に付かなくて、毎年要望は出している。大井川は国土交通省が管理しているので、危険な状況にはしないということは確かだと思う。河床を高くしているということは、わざとしているということは確かでない。 |

※ 回答は全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応（報告）

| 質疑応答番号 検討事項番号 | 検討内容（市長の発言） | 市からの回答（対応状況） |
|------------------|---|--------------|
| 1-1 検討事項 1 | <p>●課税課で公図と土地台帳で所有者を閲覧することは可能であるが、現在、縦覧期間であるので、それができない。（5月末まで縦覧期間）市有地も、この横井の中には（防災倉庫を設置するような）場所がない。あればそこを使ってもらえることができるが、2丁目に設置する防災倉庫の場所は確保されているのか？（確保されているとの回答）この防災倉庫については、危機管理課に明日にでも話しておくので、また相談をさせていただく。</p> <p>【検討事項 1】</p> | ■ |
| 4-6 検討事項 2 | <p>●調べてはみるが、少なくとも私はそういったことはないと思っている。街路樹がなきゃいけないというのは、県道の例からも「道路に街路樹がなければいけない」ということはないと思う。</p> <p>【検討事項 2】</p> | ■ |
| 11 検討事項 3 | <p>●私も逆走にあったことがある。危ないなあと思った。向こう側の標識がどうなっているのか、ちゃんと通る人たちからは見えないので分からないが、標識が見にくいのか、分かっている人が入ってくるのか。数年前までは（工事の時の間は）、人を置いて相互通行してい</p> | ■ |

| | | |
|-------------|--|---|
| | た。生活安心課を通して警察にはお話をしておく。 【検討事項3】 | |
| 12 検討事項4 | ●ゆりの木がどういうものか分からないが、専門の人たちが消毒をやっているものだから、聞いてみる。【検討事項4】 | ■ |